



ご協力ありがとうございました

## 四国電力 第99回定時株主総会 報告

2023年9月27日

株主そしてサポーターの皆さまへ

四国電力の第99回定時株主総会は、6月28日(水)午前10時から12時11分まで、高松市の四国電力本店で開かれました。出席者は132名。昨年(122名)より少し増えました。

私たちの脱原発を求める会の株主提案は4件。提案株主は113名。議決権は1,092個(10万9200株)。加えて14項目の事前質問書(全文は本会HP参照)を提出しました。

株主総会では、昨年までコロナ禍の効率的な議事進行として、事業報告、事前質問、会社提案、株主提案、全ての説明後、まとめて質疑応答が行われていましたが、今年は事前に議長から「コロナが2類から5類に変更になったので役員がマスクを外すことをご了承ください。」との発言があったにも関わらず、「全てを一括で説明した後、質疑応答、一問一答、3分以内。」という一方的なルール説明に、株主から動議が出され「コロナも5類になったと仰るなら、コロナ以前のように各項目毎に質疑応答の時間を取って欲しい。」と提案がありました。しかし、数の力で動議は瞬時に否決されました。動議が否決されるとすかさず、別の株主の方から「一問一答というが、報告事項と決議事項をまとめて審議するには、時間が足りない。一問一答では終わらない。」という意見が述べられ、議長は「ご意見としてお受けさせていただきますが、私に議事進行の責任がありますので、一問一答で進めさせていただきます。」と、まさに(私がルールだ!)と言わんばかりのジャイアン発言。

四電側の対応は相変わらずですが、株主間の見事な連携で、たたみ込むような意見発言は素晴らし

かったと思います。

事業報告は、228億円の損失。結果、配当は無し。損失の内、104億円は海外事業投資に失敗して出た損失だそうです。

決議事項は、会社側が提案した取締役の選任など、3つの議案は全て可決。当会が提案した、不正閲覧などの監督責任として3人の取締役の解任や、伊方原発3号機の廃炉などを求める4つの議案と他の個人株主からの配当についての議案は全て否決されました。

株主からの質問は、「会場の前列に座っている職員さんと思しき人たちが、一斉に大声で叫ぶ姿に脅威を感じる。やめて欲しい。」

議長：「ご意見として承ります。」

株主：「四電から愛媛県へ5000万円の寄付があったが、利害関係のある企業からの金銭の授受は贈賄にあたるのでは？以前にもこのようなことはあったのか？」

西崎常務：「自治体から寄付の要請があれば、その都度検討し、妥当な額を出している。過去にもあった。今後も必要な時は出していく。」

高知県：「電気料金の値上げが実施されているが、今後も徹底した経営の効率化などをお願いしたい。不正閲覧に関してコンプライアンスの徹底をお願いしたい。再生可能エネルギーの発電停止が実施されたが、今後どのような対策を講じていくのか。伊方発電所3号機の稼働は万全の安全対策を講じていただきたい。」

宮本常務：「電気料金の値上げはやむを得ない。不正閲覧に関してはコンプライアンスの徹底に取り組む。再生可能エネルギーの出力制限については、オンラインで出力制御可能な事業者を増やす。伊方3号機の稼働は、安全性を最優先に行う。」

株主：「電気代の高騰で、多くの人が困っている。電気料金の内訳を教えて欲しい。」

宮本常務：「電気料金の値上げは、電力の安定供給のためご理解を願いたい。」

議長：「料金の中身は個別に説明します。」

株主：「巨大地震がいつ起こるか分からない状況で、人的なミスが連発している。四国電力の皆さんは怖くないのか？」

山田副社長：「100%の安全は無い。今後も努力していく。」

株主：「今回、配当見送りとなったが、今後の配当は？」

長井社長：「配当額50円を目指す。」

株主：「四国電力の男女間格差是正について、原因と対策、目標を数値で示せ。」

西崎常務：「現在女性職員の割合は9%。管理職の女性比率は3.5%。女性管理職の育成等に取り組んでいく。」

株主：「伊方原発で事故があった場合の避難計画は自治体まかせだが、電力会社の責任は？」

山田副社長：「自治体が避難計画を策定する。有難いと思っている。ご懸念は理解する。事故を

起こさないことが大事。安全を最優先にやっていく。」

株主：「原発事故を起こさないという発言は破綻している。想定外、原発が武力攻撃を受けても回避できると思う。耐震性に対しても大丈夫と考えられる。これらの皆さんの願望的な言葉ではなく、福島事故から何を学んだのか。次の世代にどのように申し開きができるのか？これからも、～考える、とか～思う、とかおっしゃり続けるのか？」

山田副社長：「基本的な姿勢としては安全確保を大前提に必要な対策を取る。今後も信頼性、安全性の向上に努めていく。100%の安全は無いが、こういう取り組みを続けることで、過酷な事故に至る可能性は極めて低いと考える。」( 当会：また、～考える。ですか。 )

株主：「株価が4分の1に下がった。188億もの、海外事業投資の損失を出したのは、経営能力の無さの表れ。リスク管理ができていない。」

長井社長：「電気事業は非常に厳しい状態にある。今回の損失の原因は新型コロナウイルス感染拡大の影響によるもの。多額の損失を出したことは甚だ遺憾に思う。リスク管理を徹底し、取り組んでいきたいと思っている。( 当会：思っは、いるんだ。 ) 海外事業に関しては、リスクも考えながら、しっかりと取り組んでいく。」

株主：「配当が無い理由に、燃料資源の高騰を挙げられているが、理由にならない。原発に固執している姿勢を改め、自然エネルギーへの切り替えを。」

議長：「ご意見として承る。」

四電側の対応は相変わらずでしたが、多くの株主から多様な意見が出ました。今回は当会からとは別に1名の株主からの提案もありました。当日ご本人は欠席でしたが、物言う株主が増えたことはいいことです。会場の社員株主の数と一般株主の数が拮抗するようになれば、もう少しまともな総会になるでしょう。諦めず、声を上げていきましょう。

会場の外からも、多くの方々が歌やメッセージで、声を上げ続けてくださいました。全ての原発が廃炉になるまで、一緒に声を上げていきましょう。

未来を考える脱原発四電株主会

共同代表 内田知子

## 私たちの株主提案議案

### 第 5 号議案 取締役解任の件

#### 議案内容

当社は、他社の管理する「託送お客さま管理システム」に侵入し、他社の顧客情報を盗み見するという卑しむべき行為を長年繰り返し、国から指摘を受けるまで隠蔽し続けた罪は重く、佐伯勇人会長、長井啓介社長、宮崎誠司営業推進本部長の取締役 即時解任を決議する。

### 第 6 号議案 定款一部変更の件 (1)

#### 議案内容

現行定款 (1) 「電気事業」を (1) 「原子力に依らない電気事業及び原子力事業 からの撤退に関する事業」に改訂する。

### 第 7 号議案 定款一部変更の件 (2)

#### 議案内容

現行定款 (5) 「エネルギー資源の開発、販売及び輸送」を (5) 「エネルギー資源の開発、販売及び輸送 但し送配電部門は完全に分離する」に改訂する。

### 第 8 号議案 定款一部変更の件 (3)

#### 議案内容

「第 2 条 2 項 前各号の事業遂行に当たっては、本会社の事業活動が顧客の 生命を傷つけるもの、あるいは、顧客の財産を損なうものであってはならない」を追加する。

## 株主提案への賛成率

集計結果は EDINET より

< 当会提案議案は第 5 号から第 8 号までです >

決議事項	賛成	反対	棄権	反対率	決議結果
第 4 号議案	76,272 個	1,351,591 個	1,054 個	94.2%	否決
第 5 号議案					
佐伯 勇人	80,150 個	1,347,706 個	1,089 個	94.0%	否決
長井 啓介	55,814 個	1,372,043 個	1,089 個	95.6%	否決
宮崎 誠司	53,710 個	1,374,147 個	1,089 個	95.8%	否決
第 6 号議案	52,062 個	1,375,966 個	1,064 個	95.9%	否決
第 7 号議案	47,512 個	1,380,515 個	1,064 個	96.2%	否決
第 8 号議案	54,633 個	1,373,405 個	1,054 個	95.7%	否決

(注) 各議案の可決要件は、次のとおりです。

- ・第 4 号議案は、出席した株主の議決権の過半数の賛成です。
- ・第 5 号議案は、議決権を行使することができる株主の有する議決権の過半数の出席と、出席した株主の議決権の過半数の賛成です。
- ・第 6 号議案、第 7 号議案および第 8 号議案は、議決権を行使することができる株主の有する議決権の 3 分の 1 以上の出席と、出席した株主の議決権の 3 分の 2 以上の賛成です。

#### (4) 株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

本総会前日までの事前行使分および当日出席の一部の株主から各議案の賛否に関して確認できたものを合計したことにより可決要件を満たし、会社法上適法に決議が成立した（株主提案については会社法上否決されることが明らかになった）ため、本総会当日出席の株主のうち、賛成、反対および棄権の確認ができていない議決権数は加算していません。

# 第99回定時株主総会事前質問

## 質問要旨と四電回答要旨



<http://miraiyonden.sakura.ne.jp/kokaisitumon> QRコード→  
「事前質問」の全文は、公開質問書（24）としてHPに公開しています。  
公開質問書（24）は文書回答を得る目的で「事前質問」を再提出したものです。

### 質問 1、2 公益企業としての矜持と良心について (1) (2)

ドイツが脱原発を決断出来たのに日本が脱原発を決断出来ぬはずはない。当社は公益企業としての矜持と良心に従って脱原発を宣言する意志はあるか。原発稼働は「矜持と良心」に従っていると言えますか。

#### 回答 1、2

伊方3号機は当社の基幹電源であり、引き続き原子力発電を最大限活用してまいりたいと考えております。

### 質問 3 原発への武力攻撃について

当社は、現在の重大事故等対処設備等で武力攻撃を「最大限回避できる」と述べている。では「最小限回避できない」ものは何か。その際の具体的善後策も併せてお答え下さい。

#### 回答 3

武力攻撃のリスクに対しては、国の外交上・防衛上の観点から対処されるものと認識しており、武力攻撃に関する想定を行う立場にないと考えております。

### 質問 4 カーボンニュートラルの取り組みについて

廃炉に最短でも40年を要する原発が発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないという理由だけで脱炭素化に貢献している、といえますか。誰にも分かるようにお答え下さい。

#### 回答 4

原子力の廃炉には、約40年という長い年月を要しますが、これには、廃炉作業を確実かつ安全に進めるための、各設備の放射性物質の減衰に要する期間などが含まれております。

### 質問 5 MOX燃料について

伊方3号機のMOX燃料は近く使い切れません。当社の「プルトニウム利用計画」も向こう3年間MOX燃料利用計画はありません。なぜ、「プルサーマルの継続」を主張するのですか。

#### 回答 5

本年（2023年）2月に閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」での、原子力燃料サイクル推進の取り組みに基づいて、当社としましては、引き続き、安全を最優先に、地元の皆さまのご理解をいただきながら、プルトニウムの着実な利用に努めてまいります。

### 質問 6 当社子会社四国電力送配電のシステム不正閲覧について

上記不祥事について、当社の「報告書概要」には、国から要請されている「関係者の厳正な処分」が明記されていません。お答え下さい。

#### 回答 6

取締役社長執行役員長井啓介は役員報酬1か月の20%を自主返上。営業推進本部長宮崎誠司は役員報酬1か月の10%を自主返上。「総合企画室長」、「営業推進本部副本部長」は社長による「戒告」。関係部門の部長3名は担当役員による「厳重注意」。従業員は悪意がなかったし、社内ルールの理解浸透・教育不十分は会社全体の責任であるから、関係幹部に対し適切な処分を行っております。

質問 7 「伊方発電所における新燃料搬出の事前連絡について」(当社 HP)

2022 年 7 月～ 9 月にイギリスに搬出した伊方 1、2 号機の新燃料集合体 52 体のその後の経緯が公表されていません。お答え下さい。

回答 7

昨年(2022 年)9 月 30 日に英国成型加工工場に到着、精製されたウランは 3 号機で利用する予定です。ウラン精製等に要する費用や期間につきましては、個別契約なので回答を差し控えていただきます。

質問 8 「海外事業投資にかかる損失計上について」(当社 HP)

当社 100%出資の台湾の洋上風力発電事業の不振で 2022 年度に 188 億円の営業外損失を計上しています。この子会社の情報は不明です。役員の責任と併せてお答え下さい。

回答 8

現在当該子会社を通じて、中東やアジアでの発電事業 8 案件に出資を行っています。「よんでんグループ中期長期計画」において、2030 年度時点で年間の経常利益を 80 億円獲得することを目標として、事業拡大に取り組んでおります。

質問 9 伊方 3 号機が稼働しているのに、なぜ、電力値上げを申請したのか

当社の口癖は「原発は安価」です。じっさい、当社と同じく原発稼働中の関電と九電は値上げ申請をしていません。なぜ、当社だけが値上げしたのですか。お答え下さい。

回答 9

従来以上に踏み込んだ様々な効率化施策を実施しましたが、当社単独決算で経常損益が▲303 億円と 3 期連続の赤字、連結決算で▲225 億円と 2 期連続の赤字となり、仮に、海外事業投資損失がなかったとしても赤字にならざるを得なく、何卒ご理解賜りたいと考えております。

質問 10、11、12 伊方発電所に及ぼす地震動と敷地の安定性について (1) (2) (3)

①強震時における燃料プールの冷却水の状態についてどのように確認したのか。②地盤の弱い敷地埋立地にある事務棟はなぜ、大丈夫といえるのか。③敷地直下に震源域が広がる南海トラフ地震(M9.0 想定)の地震動を当社が、181 ガルと算定した根拠と計算手法をお答え下さい、等々。

回答 10

当社は、原子力規制委員会の新規制基準適合性審査において、評価条件や解析手法を含め、その妥当性が確認されております。

回答 11

万が一総合事務所が被害を受ける状況となっても、新規制基準適合性審査に合格している標高 32 mの緊急時対策所を活用することにしておりますので、災害対策に問題はありません。

回答 12

内閣府の評価に基づき、伊方発電所基礎岩盤での最大加速度を 181 ガルと評価し、原子力規制委員会の新規制基準適合性審査において、その妥当性が認められております。

質問 13 海水淡水化装置と純水保管タンクについて

発電所各系統の「化学体積制御系統」、「復水系統」、「補助給水系統」の 3 つについて、それぞれの機能と役割について具体的にお答え下さい。

回答 13

化学体積制御系統は、主に、一次冷却系統から一定量の一次冷却材を抽出した後、浄化やほう素濃度の調整等を行い、一次冷却系統に再び充てんするものです。復水系統補給水管は、復水系の二次系純水タンク(屋外)から復水器(タービン建屋)に繋がっている配管です。補助給水系統とは、電源喪失事故時や主

給水破断事故等で主給水が利用できない時に、崩壊熱を除去するため、蒸気発生器へ必要な冷却水を供給するための機能を担うものです。

#### 質問 14 役員報酬の個別開示について

当社は今年（2023年）、「経営責任を明確化する観点」から役員に「業績連動報酬制度」の導入を決めました。しかし、各役員のもとの報酬額の個別開示がなされない限り、公益企業としての責任は不明確です。なぜ、個々人の役員報酬額を開示しないのか、お答え下さい。

#### 回答 14

法令上、個人別の金額の記載は課されておらず、役員個人のプライバシーに関わる問題でもあるため、個人別の金額は記載しておりません。

※ 以上の提案議案と事前質問書の全文は本会のホームページに掲載しています。

▼愛媛新聞朝刊 2023年06月29日付

愛媛新聞社提供

## 伊方原発廃炉案否決 四電株主総会 社長ら解任案も

四国電力の株主総会が28日、高松市の本店であり、個人株主でつくる団体が提案した長井啓介社長ら取締役の解任や伊方原発3号機の廃炉などを求める4議案は否決された。会場出席の株主は132人。会社提案の3議案を可決し、昨年よりも16分短い2時間11分で終了した。（1面参照）



株主総会があった四国電力の本店前で  
脱原発を訴える市民団体のメンバー  
—28日午前、高松市

気料金値上げ、大幅な赤字を計上した国際事業に対する意見のほか、今後の再生エネの導入目標、配当方針に関する質問が出た。不正閲覧問題に関し、長井社長は「株主の皆さまから厳しい意見をいただいたと受け止めている。必ずや経営の正常化を果たし、全社を挙げてコンプライアンス（法令順守）の徹底に取り組み」と述べた。

（高橋宏幸）

た。定款変更の議案に関し、株主会のメンバーは「再生可能エネルギーが世界の

勢であり、原子力からは撤退すべきだ」と主張。四電は「特定の電源や燃料源に過度に依存しない、バランスのとれた供給体制の構築が重要」などと書面で反論していた。

このほか株主側からは電

# 2022 年度 会計報告

自 2022 年 7 月 1 日～至 2023 年 6 月 30 日

皆さまからのご寄附、本当にありがとうございます。

収入	前年度繰越金	650,134 円
	カンパ・寄付金	581,960 円
	利息 ※1	6 円
	計	1,232,100 円
支出	通信運送費	312,234 円
	用紙・封筒・印刷費	185,415 円
	会場使用料	36,880 円
	郵便振替 関連費	27,243 円
	新聞記事複製著作権料	3,000 円
	年間レンタルサーバ代 ※2	1,571 円
	雑費 ※3	4,125 円
	次年度繰越金	661,632 円
	計	1,232,100 円

※1 ゆうちょ銀行  
※2 さくらインターネット  
※3 株主総会報告会お茶代

## ご寄付のお礼とお願い

皆様にはご支援、応援をしていただき心より御礼申し上げます。当会は、賛同者・支援者の皆様からのカンパのみによって活動をしており、毎回のお願いで恐縮ではございますが、ご寄付いただければ幸いに存じます。またメッセージ欄へのご記入も大歓迎です。

郵便振替口座からのご寄付は、当会の送金手数料負担としました。2022年1月17日からは現金で払込の場合別途110円が必要となりますのでご留意願います。

ゆうちょ銀行・他行からのご送金については、封筒表面下部をご覧ください。

郵便振替口座 01660 - 0 - 51040

加入者名 未来を考える脱原発四電株主会  
ミライヨカンガエルダツゲンパツヨンデンカブヌシカイ

## 未来を考える脱原発四電株主会

事務局 〒771 - 0117

徳島県徳島市川内町鶴島 120-1

電話 090-9455-2963 (本田)

ファクス 088-665-6654

Eメール miraiyonden@yahoo.co.jp

ホームページ <http://miraiyonden.sakura.ne.jp/>

共同代表

本田耕一 (徳島)

丸井美恵子 (高知)

内田知子 (愛媛)

佐藤公彦 (香川)